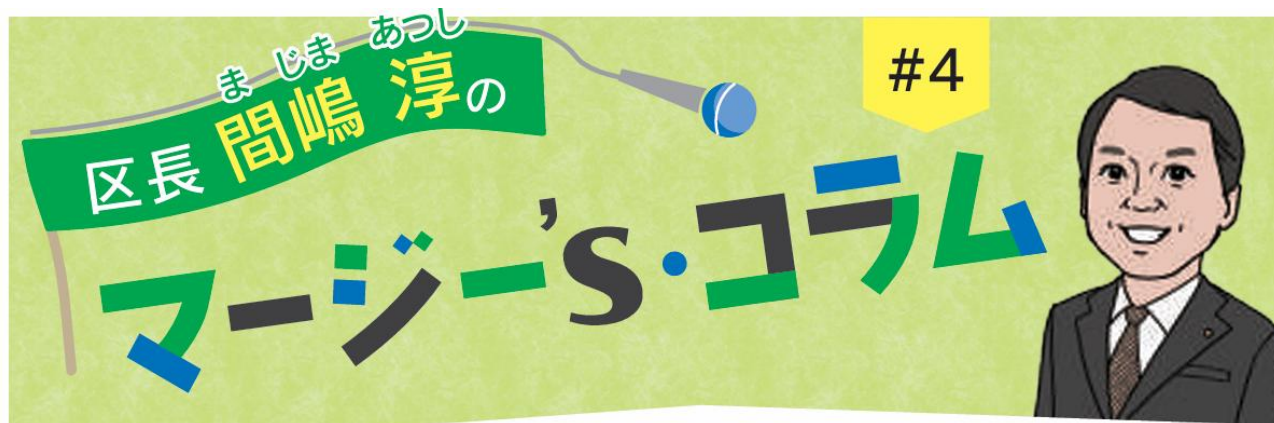




港区では外国籍の住民が増える中、互いの個性を大切にし、認め合う「多文化共生のまちづくり」を進めています。港区のSDGsのゴールにも掲げ、誰もが自分らしく輝き、「住み続けられるまちづくり」を目指しています。その一環として、先月号では区民の皆様の港区愛が詰まった「大阪・みなと暮らし～住みたいまち・住み続けたいまち～」を大特集しました。取材にご協力いただいた区民の皆様、本当にありがとうございました。

さて、地域の魅力といえば伝統文化もその一つですね。私は4月に、築港高野山釈迦院の「みなと浪曲寄席」へ足を運びました。江戸時代から続く浪曲は、一見敷居が高く感じるかもしれませんが、三味線の伴奏にのせた独特のリズムが心地よく、実はとても親しみやすい語り芸です。そこには、笑いと涙、そして温かい人情があり、初めての方でもあっという間にその世界観に引き込まれます。皆さまもぜひ一度、港区が誇る粋で情緒豊かな世界を体感してみませんか？（今月の「#キラリみなと」もチェックしてください！）

[7月号の特集をプレイバック](#)

住み続けられる
まちづくりを

